

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 3年 1月 18日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100579		
法人名	有限会社百樹		
事業所名	グループホーム百樹		
所在地	〒734-0053 広島市南区青崎2丁目15-2 (電話) 082-236-1527		
自己評価作成日	令和2年11月20日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490100579-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和3年1月12日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

グループホームの特性である家庭的な雰囲気を大切にしながらも、個々の利用者の認知レベル・身体的レベルの維持・向上を目指して介助しております。日々の介助の中でご利用者様の出来る事に着目しご本人の尊厳に配慮しながら職員と共に楽しく毎日が送れるよう努めております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

高齢者に尊敬の気持ちを持ち、よき介護人、良き社会人、よき地域住民として「ありがとうの心とごくろうさまの心」を抱き、日々の業務内容に活かし、情報共有し職員全員で実践している。利用者の出来る事に着目して、決して押し付けることなく、アットホームな雰囲気の中で、利用者と共に毎日楽しく過ごせるよう尽力している。医療面に関して、協力医の往診や訪問看護の来訪による健康管理もなされている。緊急時には24時間医療連携体制が整っている。年間を通じて社内外の研修企画もあり、知識を深め職員のスキルアップ向上に取り組んでいる。職員の意見や要望・提案が出しやすい環境作りが構築されている。

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	「感謝の心で共に働き生きる」という我が社の理念は職員と共有されており、毎日の介護を行う上で職員一同利用者の皆様に感謝の心を持って接しております。	人生の先輩の高齢者を大切に敬い、互いに社会人として人格を認め合い、よき介護人として事業所理念「ありがとうの心・ごくろうさまの心」をホールに掲示し、申し送り時に唱和し、意識づけている。研修や介護に携わる中で、個人目標に能力向上・良い介護をあげ、実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	前年度はお祭りや近所の保育園へのイベント参加や朗読ボランティアの受け入れなどで交流を図っていましたが、新型コロナウイルスの対策の為現在は見合わせている状況です。	コロナ禍で祭りや保育園児、傾聴ボランティアの来訪などが出来てなく、事業所内で出来る担当者によるイベント(新年会・ひな祭り・祭り・収穫祭など)の行事企画が楽しみに繋がる支援をしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の相談窓口として、地域住民の方々のご相談やお問い合わせいただいた折にはアドバイスさせていただいております。また、認知症アドバイザー養成講座や認知症カフェなどのお手伝いをさせていただいております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1度の運営推進会議ですが新型コロナウイルスの為R1年度6回目R2年度1・2・3回が電話やfaxなどによる報告でしたが11月に行われた4回目で包括及び地域の方に直接報告することができました。コロナ禍における認知症高齢者の生活についての質問などもいただきました。	運営推進会議には地域住民代表、地域包括支援センター職員など参加が得られていたがコロナ禍で開催が出来ない中で、電話や手紙資料(行事報告・研修報告・ヒヤリハット・事故報告・対策案など)を送付し、評価、要望、助言を頂くなどサービス向上に活かしている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議には地域包括支援センターの職員様に出席をお願いして会議後は開催状況記録をfaxにて送信させていただいております。民生委員の方や町内会の役員の方にもご意見を伺っております。	コロナ禍で運営推進会議開催は出来ていないが、開催状況記録を送信するなど関係性が途切れることがないように情報発信に努めている。	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止委員会を3か月に1度行いその結果を職員に周知する事と、社内研修を年に2回は行い理解を深めるよう指導しております。玄関の鍵は夜間防犯の為施錠しております。</p>	<p>3ヶ月毎の身体拘束廃止委員会や社内外研修、新人研修、アンガーマネジメントなどを通じて、良き人間関係を築くための言葉かけの指導やお互いが理解し、注意し合える関係性をつくっている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>虐待についても身体拘束と共に年2回社内研修を行い防止に努めております。市で行われる研修にも参加し内容を職員に周知し、グレーゾーンと思われる不適切なケアも行わないよう指導を行っております。</p>	/	
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>現在後見人制度を利用されているご利用者様もいらっしゃる為後見人の方と本人の支援について相談等行い本人様の支援を行っております。コロナ禍により外部での研修を受ける事が難しい状況ですがインターネット等活用し知識の向上に努めたいと思います。</p>	/	
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時のご利用者様、ご家族様共に重要事項説明書の内容について説明させていただき、ご不明な点等あればご納得いくまで説明させていただいております。</p>	/	
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>現在面会を制限せざるを得ない状況の為ご家族と直接顔を合わせて話をする機会は減っておりますが、電話にてお話をさせていただいております。その際何かご要望があればできるだけお応えするようにしております。</p>	<p>面会制限や外出制限がある中、電話にて意向確認している。家族が年賀状を持参され本人に書かせてほしいとの意見や要望があり、利用者と職員が一緒に書くなど、出来る事の支援をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>申し送り時や職員会議の折に職員の意見を聞くようにしております。必要に応じて個別に対応するようにしております。</p>	<p>申し送り時や業務の中で気づきや提案など日頃から聞く機会を設けている。夕食時間の変更やリハビリパンツのサイズ変更など日頃業務する中での提案が反映された。個別にも勤務体制など意見・要望が出しやすい環境関係づくりがなされている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>定期的な自己目標の設定や自己評価を行い勤務査定に繋げております。職場環境についても職員会議などの場で意見を交わし見直しを行っております。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>現在外部研修を受けるのが難しい状況ですが、社内では毎月研修を行い知識と技術の向上に努めております。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>他事業所とは交流を持ち、意見の交換を行っております。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>事前面接を行い、ご本人様・ご家族様の不安やご要望を伺っております。入居後も施設での生活に慣れるまで様子に注意しケアプランの変更を行っております。</p>		

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>事前面接時に話を伺い介護の方針について相談の上決めさせて頂いております。入居後も変化があればご連絡させて頂いております。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>ご本人様・ご家族様の意見と状態をしっかりと見極めニーズを掘り起こしケアの方針を協議しております。ご本人の変化に合わせた柔軟な対応を心掛けています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>日々の暮らしを通して一緒に笑いあえる関係を築いております。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ご利用者様に変化のあった時はご家族様に連絡を取り協力を仰ぎ共にご利用者様を支援するように努めております。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>ご本人様・ご家族様の要望をお伺いし、出来るだけ意向に沿うよう施設で対応できることに関しては柔軟に対応させて頂いております。電話、手紙などはお取次ぎしております。面会に関しては現在制限させていただいております。</p>	<p>生活歴を重視して馴染みの人や場との関係が途切れる事のない様、家族や友人、近隣の方の来訪など柔軟に対応してきた。現在はコロナ禍の状況から困難な中、少しでも声を聴いてほしいと、電話の取次ぎをするなど配慮がなされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者様同士で良好な関係が作れるように色々イベントの企画を立てて利用者様同士が協力して行ったり、顔なじみになれるよう工夫しております。リビングでの席についても相性等考慮して提供しております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退所後も居宅支援事業所を通じてご家族様との関わりを大切にし、疑問や不安な点があれば対応させていただきます。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員の担当を設けご利用者様にしっかりと寄り添い希望や意見を伺える関係づくりに努めております。ご本人様が意見を言える状態でない場合は表情などから出来るだけご本人の希望を読み取るように努めております。	利用者一人ひとり担当制にしており、日頃の業務の中で係わりを深め、信頼関係が得られ、何気ない仕草やふとした表情を受けとめ、思いや意向の把握に努めている。知り得た情報を申し送りノートやケア記録に記載し、職員間で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	事前面接時に入居以前のご生活についてもお伺いしこれまでの経過の把握につとめております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日のご本人との関わりの中で小さな変化にも対応できるようミーティング等を通して職員間での情報共有に努めております。		

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>アセスメント時にご本人・ご家族と話をして意見やご要望を確認し、必要と思われる事はケアプランに反映させていただいております。</p>	<p>担当職員がアセスメント・活動状況確認表・モニタリングを行っている。カンファレンスを開催し、計画担当者が出来る事を重視するなど、関係者それぞれの意見が反映された、現状に即したケアプランが作成されている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の様子や変化などは記録に残し職員間での情報の共有を行い、問題点は話し合いより良い介護を行うよう努力しております。</p>	/	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご本人としっかりコミュニケーションを取り、ご本人のニーズには出来るだけ柔軟に対応するようサービスの提案をさせていただいております。</p>	/	
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>コロナ禍以前は、地域のイベントには出来るだけ参加し季節の移り変わりを感じていただいたり、地域の方とのふれあいを楽しんで頂いておりましたが、現在はご利用者様の安全を第一に考え外部との接触は極力控えさせていただいております。</p>	/	
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>事前面接時に医療について話し合いご本人様・ご家族様の意向に沿う医療を受けられるように支援しています。連携している内科の往診もあり、ご希望により皮膚科・歯科の往診も受ける事ができる体制をとっております。</p>	<p>入所時、本人・家族にかかりつけ医について意向の確認を行っている。現在は殆どの利用者が協力医が主治医である。内科医の往診(月2回隔週)訪問看護(毎週)希望があれば皮膚科・歯科往診などもある。</p>	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週に一度訪問看護ステーションよりバイタル測定を行い、利用者様の健康状態の把握に努め、ドクターに報告し連携もっております。ドクターより指示書が出た場合は週1回に限らず訪問していただいております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはドクターの紹介状と施設より情報提供を行い治療に支障の出る事の無いよう努めております。状況に応じて病院にも伺わせていただきます。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居前の事前面接時に重度化への指針や緊急時の体制等についてお話をさせていただいております。終末期には再度ご家族様の意向を確認とご本人様の意向を確認し意思を尊重し、職員一同で統一した支援を行います。	入所時、重度化への指針、緊急時の体制について説明をしている。看取りの状態になった時、再度「診察に関する希望書」を説明、意向の確認をし、看取りの研修、マニュアルに沿った支援をしている。24時間医療連携体制が図られ、最期を安らかに家族の想いに添えるよう医療関係機関とチームで支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	年1回は必ず緊急時の対応についての研修を行っております。事故が起きた時は事故委員会を開き、原因・今後の対応について話し合いを持ち、再発防止に努めております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	定期的に防災訓練を行い、消防署にも依頼し訓練指導を行っております。	年2回(1回は夜間想定)地震・火災・水害など災害別のマニュアルを作成し、緊急時の電話網、避難場所の確認など防災訓練を実施している。災害時での協力体制が得られるよう努めている。非常時に備えて備蓄品(水・レトルト食品)を準備している。電気が止まった時の対応策を考え中である。	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	接遇マナーについての研修を行い、職員にはご利用者に寄り添うような対応をするよう指導しております。	勤務体制の関係上、数人単位で全員が接遇マナーについての研修を実施している。人生の先輩として敬意を持ち、自尊心を傷つけない言葉掛けに努め、寄り添う支援を実践している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	職員の気持ちを押し付ける事の無いよう注意しご本人様の意向を引き出せるような声掛けを行うように努めております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご本人様の意見を無視する事の無いよう希望を聞きながら支援するよう努めております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご本人様の希望を聞きながら難しい所をお手伝いするよう心がけて支援しております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	楽しく落ち着いて食事が出来るよう環境を整え、食事後は台拭きやトレーの片づけなど無理のない範囲で手伝って頂いております。また、イベントでも皆で食事を作る企画の際は皮むきなども出来る方にしていただき楽しんで頂いております。	献立に合わせた食材が、業者から届き職員が調理している。行事として「皆でカレーを作ろう」では利用者がジャガイモ、人参の皮むきなど無理のない範囲内で手伝っている。また特別食(ちらし寿司、炊き込みご飯、赤飯、煮物)やホットプレートでホットケーキ作りなどを行い楽しみに繋がる支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	ご本人様の状態に合わせた食事の形態にするように食べやすく刻んだり、お粥やとろみなどの対応もしております。食事時以外も起床時、10時、3時、入浴後等にしっかり水分が取れるよう声掛けも行っております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後口腔ケアを行っております。希望により訪問歯科の往診も行っております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄記録を付け個々の排泄パターンを把握しその方に合わせたトイレ誘導の声掛けやパットの交換を行い快適に過ごしていただけるよう努めております。接遇マナーの研修時に自尊心を傷つけない声掛けについての指導しております。	一人ひとりの排泄記録を基に排泄パターンを把握し、声掛け、誘導、トイレでの排泄支援に努めている。水分摂取や午前10時・午後2時の運動時間を実施し、自然排便に繋げている。おむつ(夜間1名)ポータブルトイレ(夜間1名)である。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	水分摂取を心掛け午前・午後共に運動の時間を設け自然の排泄を目指しております。個々の排泄パターンを把握しトイレ誘導を行っておりますが体調体質によりどうしても便秘がちな方はドクターに相談のうえ対応しております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	基本入浴日は設定しておりますが、順番や時間などは出来るだけご本人様のご希望に沿うように対応しております。	基本週2回(午前、午後浴)を設定している。利用者の体調や意向に合わせて柔軟に対応している。脱衣室や浴室内を暖かくして温度調節し、心地よく入浴出来るよう配慮し、入浴後の保湿剤塗布や着替えなど入浴を楽しむ取り組みをしている。	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>居室内の環境に気を配り安眠で きるように配慮しております。夜 間しっかり眠れるように、体操 などを行い日中は活動的に過ご して頂いております。疲れない よう昼食後にお昼寝の時間を 設け夜間の睡眠に響かない程 度の休息を取っていただいで おります。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めて いる。</p>	<p>すぐに確認できるようにお薬情 報はファイルし、変化があれば 職員に周知するようにしてい ます。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>個々の状態に合わせて施設内 での役割を持って頂いたり、体 力や認知能力を保つ為に個別 にレクリエーションを行って おります。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所でも 、本人の希望を把握し、家族 や地域の人々と協力しながら 出かけられるように支援して いる。</p>	<p>以前は出来るだけご利用者の 意向に沿うように短時間であ っても外に行きたいというご 希望には答えさせていたで いておりましたが、現在はご 利用者の安全を第一に考え必 要な受診以外の外出は自粛さ せていただいでしております。</p>	<p>近隣公園までの散歩、保育園 ・小学校の桜見学、敷地内の 小さな畑の野菜作りなど実施 していたが、現在は出来て いない。レクリエーションを 通じて、少しでも四季を感じ て頂けるよう毎月のイベント 行事の中に組み入れている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一 人ひとりの希望や力に応じて 、お金を所持したり使えるよ うに支援している。</p>	<p>利用開始時に金銭管理につ いてはご本人、ご家族に説明 を行いご本人にあった方法 での支援を行っております。</p>		

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご希望により対応致します。届いた手紙はご本人にお渡しし、読むのが難しい方については職員が了解の上で読んで差し上げる事もあります。また、現在面会が制限されておりますので、ご家族と電話で連絡する際には出来るだけご本人ともお話をさせて頂くように配慮しております。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	清潔で生活しやすい空間を作る為に各居室や共有スペースなどの掃除はマニュアル作成し毎日掃除をしております。浴室も冬場などは寒くないよう温度管理しております。季節の装飾を職員と一緒に作って居室やホールに飾って楽しんでおります。	外出が困難な中で、季節を感じてもらえるよう、職員と一緒に作成した季節ごとの飾り付けなど工夫している。掃除マニュアルを作成し、気持ちよく過ごして頂けるよう努めている。温度管理や定期的な換気などコロナウイルス感染症予防対策をしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	スペースに限りはありますがご利用者様同士の相性等も考慮し、お席の配置を考えております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	利用開始時にご本人様の思い出の品や、写真などを飾って頂いたり、施設に入居されてからも、レクの時間に作った壁飾りや、交流のある保育園の園児から頂いた飾りを壁に飾り思い思いにくつろげる空間を作るよう心掛けております。	利用者の思い出の品物や使い慣れた物など自由に持ち込まれている。仏壇やひ孫の写真、ぬいぐるみ、猫の好きな利用者は猫のカレンダーを飾るなど、居心地良く過ごせる居室になるよう工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	必要な場所には手すりを設置し、出来るだけ独歩できる環境を作っております。安全に配慮しながら手を出し過ぎない介護を心掛けております。		

V アウトカム項目(Aユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	「感謝の心で共に働き生きる」という我が社の理念は職員と共有されており、毎日の介護を行う上で職員一同利用者の皆様に感謝の心を持って接しております。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	前年度はお祭りや近所の保育園へのイベント参加や朗読ボランティアの受け入れなどで交流を図っていましたが、新型コロナウイルスの対策の為現在は見合わせている状況です。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の相談窓口として、地域住民の方々のご相談やお問い合わせいただいた折にはアドバイスさせていただいております。また、認知症アドバイザー養成講座や認知症カフェなどのお手伝いをさせていただいております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1度の運営推進会議ですが新型コロナウイルスの為R1年度6回目R2年度1・2・3回が電話やfaxなどによる報告でしたが11月に行われた4回目で包括及び地域の方に直接報告することができました。コロナ禍における認知症高齢者の生活についての質問などいただきました。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議には地域包括支援センターの職員様に出席をお願いして会議後は開催状況記録をfaxにて送信させていただいております。民生委員の方や町内会の役員の方にもご意見を伺っております。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止委員会を3か月に1度行いその結果を職員に周知する事と、社内研修を年に2回は行い理解を深めるよう指導しております。玄関の鍵は夜間防犯の為施錠しております。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待についても身体拘束と共に年2回社内研修を行い防止に努めております。市で行われる研修にも参加し内容を職員に周知し、グレーゾーンと思われる不適切なケアも行わないよう指導を行っております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在後見人制度を利用されているご利用者様もいらっしゃる為後見人の方と本人の支援について相談等行い本人様の支援を行っております。コロナ禍により外部での研修を受ける事が難しい状況ですがインターネット等活用し知識の向上に努めたいと思います。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時のご利用者様、ご家族様共に重要事項説明書の内容について説明させていただき、ご不明な点等あればご納得いくまで説明させていただいております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	現在面会を制限せざるを得ない状況の為ご家族と直接顔を合わせて話をする機会は減っておりますが、電話にてお話をさせていただいております。その際何かご要望があればできるだけお応えするようにしております。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	申し送り時や職員会議の折に職員の意見を聞くようにしております。必要に応じて個別に対応するようにしております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	定期的な自己目標の設定や自己評価を行い勤務査定に繋げております。職場環境についても職員会議などの場で意見を交わし見直しを行っております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	現在外部研修を受けるのが難しい状況ですが、社内では毎月研修を行い知識と技術の向上に努めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	他事業所とは交流を持ち、意見の交換を行っております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	事前面接を行い、ご本人様・ご家族様の不安やご要望を伺っております。入居後も施設での生活に慣れるまで様子に注意しケアプランの変更を行っております。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>事前面接時に話を伺い介護の方針について相談の上決めさせて頂いております。入居後も変化があればご連絡させて頂いております。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>ご本人様・ご家族様の意見と状態をしっかりと見極めニーズを掘り起こしケアの方針を協議しております。ご本人の変化に合わせた柔軟な対応を心掛けています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>日々の暮らしを通して一緒に笑いあえる関係を築いております。また、できることについてはお手伝いをお願いしております。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ご利用者様に変化のあった時はご家族様に連絡を取り協力を仰ぎ共にご利用者様を支援するように努めております。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>ご本人様・ご家族様の要望をお伺いし、出来るだけ意向に沿うよう施設で対応できることに関しては柔軟に対応させて頂いております。電話、手紙などはお取次ぎしております。面会に関しては現在制限させていただいております。</p>		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者様同士で良好な関係が作れるように色々イベントの企画を立てて利用者様同士が協力して行ったり、顔なじみになれるよう工夫しております。リビングでの席についても相性等考慮して提供しております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退所後も居宅支援事業所を通じてご家族様との関わりを大切にし、疑問や不安な点があれば対応させていただきます。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員の担当を設けご利用者様にしっかりと寄り添い希望や意見を伺える関係づくりに努めております。ご本人様が意見を言える状態でない場合は表情などから出来るだけご本人の希望を読み取るように努めております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	事前面接時に入居以前のご生活についてもお伺いしこれまでの経過の把握につとめております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日のご本人との関わりの中で小さな変化にも対応できるようミーティング等を通して職員間での情報共有に努めております。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	アセスメント時にご本人・ご家族と話をし、意見やご要望を確認し、必要と思われる事はケアプランに反映させていただきます。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の様子や変化などは記録に残し職員間での情報の共有を行い、問題点は話し合いより良い介護を行うよう努力しております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご本人としっかりコミュニケーションを取り、ご本人のニーズには出来るだけ柔軟に対応するようサービスの提案をさせていただきます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	コロナ禍以前は、地域のイベントには出来るだけ参加し季節の移り変わりを感じていただいたり、地域の方とのふれあいを楽しんで頂いておりましたが、現在はご利用者様の安全を第一に考え外部との接触は極力控えさせていただきます。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	事前面接時に医療について話し合いご本人様・ご家族様の意向に沿う医療を受けられるように支援しています。連携している内科の往診もあり、ご希望により皮膚科・歯科の往診も受ける事ができる体制をとっております。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週に一度訪問看護ステーションよりバイタル測定を行い、利用者様の健康状態の把握に努め、ドクターに報告し連携もっております。ドクターより指示書が出た場合は週1回に限らず訪問していただいております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはドクターの紹介状と施設より情報提供を行い治療に支障の出る事の無いよう努めております。状況に応じて病院にも伺わせていただきます。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居前の事前面接時に重度化への指針や緊急時の体制等についてお話をさせていただいております。終末期には再度ご家族様の意向を確認とご本人様の意向を確認し意思を尊重し、職員一同で統一した支援を行います。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	年1回は必ず緊急時の対応についての研修を行っております。事故が起きた時は事故委員会を開き、原因・今後の対応について話し合いを持ち、再発防止に努めております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	定期的に防災訓練を行い、消防署にも依頼し訓練指導を行っております。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	接遇マナーについての研修を行い、職員にはご利用者様に寄り添うような対応をするよう指導しております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	職員の気持ちを押し付ける事の無いよう注意しご本人様の意向を引き出せるような声掛けを行うように努めております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご本人様の意見を無視する事の無いよう希望を聞きながら支援するよう努めております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご本人様の希望を聞きながら難しい所をお手伝いするよう心がけて支援しております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	楽しく落ち着いて食事が出来るよう環境を整え、食事後は台拭きやトレーの片づけなど無理のない範囲で手伝って頂いております。また、イベントでも皆で食事を作る企画の際は皮むきなども出来る方にしていただき楽しんで頂いております。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>ご本人様の状態に合わせた食事の形態にするように食べやすく刻んだり、お粥やとろみなどの対応もしております。食事時以外も起床時、10時、3時、入浴後等にしっかり水分が取れるよう声掛けも行っております。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後口腔ケアを行っております。希望により訪問歯科の往診も行っております。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄記録を付け個々の排泄パターンを把握しその方に合わせたトイレ誘導の声掛けやパットの交換を行い快適に過ごしていただけるよう努めております。接遇マナーの研修時に自尊心を傷つけない声掛けについての指導しております。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>水分摂取を心掛け午前・午後共に運動の時間を設け自然の排泄を目指しております。個々の排泄パターンを把握しトイレ誘導を行っておりますが体調体質によりどうしても便秘がちな方はドクターに相談のうえ対応しております。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>基本入浴日は設定しておりますが、順番や時間などは出来るだけご本人様のご希望に沿うように対応しております。</p>		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	居室内の環境に気を配り安眠で きるように配慮しております。夜 間しっかり眠れるように、体操 などを行い日中は活動的に過ご して頂いております。疲れない よう昼食後にお昼寝の時間を 設け夜間の睡眠に響かない程 度の休息を取っていただいて おります。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支 援と症状の変化の確認に努め ている。	すぐに確認できるようにお薬情 報はファイルし、変化があれば 職員に周知するようにしてい ます。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、嗜 好品、楽しみごと、気分転換 等の支援をしている。	個々の状態に合わせて施設内 での役割を持って頂いたり、体 力や認知能力を保つ為に個別 にレクリエーションを行って おります。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所 でも、本人の希望を把握し、 家族や地域の人々と協力しな がら出かけられるように支 援している。	以前は出来るだけご利用者の 意向に沿うように短時間であ っても外に行きたいというご 希望には答えさせていただ いておりましたが、現在はご 利用者の安全を第一に考え必 要な受診以外の外出は自粛さ せていただいております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこ との大切さを理解しており、一 人ひとりの希望や力に応じて お金を所持したり使えるよう に支援している。	利用開始時に金銭管理につ いてはご本人、ご家族に説明 を行いご本人にあった方法 での支援を行っております。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご希望により対応致します。届いた手紙はご本人にお渡しし、読むのが難しい方については職員が了解の上で読んで差し上げる事もあります。また、現在面会が制限されておりますので、ご家族と電話で連絡する際には出来るだけご本人ともお話をして頂くように配慮しております。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	清潔で生活しやすい空間を作る為に各居室や共有スペースなどの掃除はマニュアル作成し毎日掃除をしております。浴室も冬場などは寒くないよう温度管理しております。季節の装飾を職員と一緒に作って居室やホールに飾って楽しんでおります。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	スペースに限りはありますがご利用者様同士の相性等も考慮し、お席の配置を考えております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	利用開始時にご本人様の思い出の品や、写真などを飾って頂いたり、施設に入居されてからも、レクの時間に作った壁飾りや、交流のある保育園の園児から頂いた飾りを壁に飾り思い思いにくつろげる空間を作るよう心掛けております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	必要な場所には手すりを設置し、出来るだけ独歩できる環境を作っております。安全に配慮しながら手を出し過ぎない介護を心掛けております。		

V アウトカム項目(Bユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム百樹

作成日 R3年2月20日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	19	コロナ禍の影響もあるがご家族との繋がりが希薄になっている。	ご家族とのコミュニケーションを密にする。	ご家族あての手紙をこれまでよりも詳しく書き、ご本人のGHでの生活を伝える。	1年間
2	27	介護記録があまりケアに活かされていない。	介護に活かせる記録が書ける。	研修を行い職員に記録の大切さを周知しケアに活かせる記録が書けるようになる。	1年間
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。